

FEMLEEG 修正履歴 (バージョン 2.0 リリース 7~バージョン 1.0 リリース 1)

【バージョン 2.0 リリース 7 で修正されました。(2000/04/14)】 -バージョン 2.0 最終-

LISA

- ・梁要素に斜め支持を設定した場合、計算結果が正しくない場合があります。

【バージョン 2.0 リリース 6 で修正されました。(2000/01/07)】

LISA

- ・同一節点に複数の座標系で拘束条件を設定した場合、設定の順序によっては過拘束する結果になってしまいました。

【バージョン 2.0 リリース 5 で修正されました。(1999/12/14)】

FEMIS

- ・(環境設定で設定した節点数)<(モデルの要素数)となっている場合、[変更]-[コピー/移動]-[法線/回転/相似/対称面]を実行するとデータがおかしくなっていました。
- ・[変更]-[範囲]で描画範囲選択をしている場合、[変更]-[コピー/移動]-[法線/回転/相似/対称面]を実行すると、選択対象外が表示される場合があります。

【バージョン 2.0 リリース 4 で修正されました。(1999/09/07)】

FEMIST

- ・MARC 変換で、拘束条件のないデータを変換しようとするエラーになってしまいました。

LISA

- ・内部の処理に一部不具合がある個所を修正しました。

【バージョン 2.0 リリース 3 で修正されました。(1999/06/04)】

LISA

- ・シェル要素を用いたモデルで、計算結果が以前の結果と異なる場合があります。ただし、この現象はバージョン 2.0 リリース 2 でしか発生しません。

【バージョン 2.0 リリース 2 で修正されました。(1999/05/20)】

FEMIS

- ・[条件]-[荷重]-[エリア载荷]の4概点平面指定を行うとエラーになってしまいました。

LISA

- ・異方性材料のあるデータを解析すると、エラーまたは異常終了してしまいました。

【バージョン 2.0 リリース 1 で修正されました。(1999/03/04)】

全アプリケーション共通

- ・リストページから印刷した後、画面の印刷ができなくなりました。ただし、この現象はバージョン 1.3 でしか発生しません。

FEMIS

- ・高次 3 角形要素の材料番号等の表示位置が正しくありませんでした。
- ・[ファイル]-[環境設定]-[テーブルサイズ]で指定されている解析条件レコード数より大きいレコード数のモデルを読み込むと異常終了してしまいました。
- ・CAD+要素データのモデルに要素データだけの標準入力ファイルを追加読み込みすると CAD データがおかしくなりました。
- ・[変更]-[モデル修正]-[結合]で節点列の結合を行った後、[情報]-[リスト]の節点リスト表示が一部しか表示されなくなりました。
- ・パーテックス+節点データのモデルで標準入力ファイルを生成すると、パーテックス上に節点のないパーテックスの対応節点番号が正しく出力されませんでした。
- ・[生成]-[CAD を使った]-[CAD 面オートメッシュ]で最大境界数以上の CAD 面があると正しくメッシュ生成されませんでした。ただし、この現象はバージョン 1.3 でしか発生しません。
- ・[生成]-[CAD を使った]-[エッジ上複数節点生成]で節点数指定を実行してエラーが起きた場合のエラーメッセージが正しくありませんでした。ただし、この現象はバージョン 1.3 でしか発生しません。
- ・[条件]-[活荷重]-[削除]のヘルプボタンで表示されるヘルプが別のヘルプになっていました。
- ・[表示]-[視点]-[位置]で円筒座標系表示を局所座標系で指定した場合、局所座標系の原点位置を考慮した表示になっていませんでした。
- ・[ファイル]-[開く]でセーブファイル読み込み時、ブロック・サイドが不足した場合、何度もエラーメッセージが表示されてしまいました。
- ・グループ毎の描画を実行した時、凡例が画面からはみ出してしまう場合があります。
- ・[生成]-[ブロック]-[4 角形]で、既存のサイドを参照する場合、参照されるサイドの両端が他のサイドと共有していると、正しくサイドを参照することができない場合があります。
- ・位置設定のされていない拘束データを削除すると異常終了する場合があります。
- ・[情報]-[リスト]の荷重で荷重ケース毎合計を出力した場合、リストの継続を行うと異常終了してしまいました。
- ・[変更]-[グループ]-[登録]で、材料または断面/板厚で指定した場合、正しくグループ設定されない場合があります。
- ・[CAD]-[欠番]で、パーテックスを最小・最大指定で欠番処理すると形状がおかしくなる場合があります。ただし、この現象はバージョン 1.3 でしか発生しません。
- ・[CAD]-[CAD 面]-[面定義]、-[内部穴]の解除で、等差数列で指定すると面定義の場合は制御が戻ってこない、内部穴解除の場合はボックス選択になってしまいました。
- ・[条件]-[梁オプション]-[位置設定]で、指定したセット番号のデータが、対象で選択したデータと一致しない場合でも位置指定されてしまいました。
- ・[生成]-[ブロック]-[直線/スプライン]で、作成方法:追加で既存のブロックに追加する場合、直前に作成したブロック

にしか追加できませんでした。またその時のエラーメッセージも正しくありませんでした。

- ・[変更]-[削除]でブロックを削除する際、削除除外節点を指定すると異常終了してしまいました。
- ・[ファイル]-[環境設定]-[テーブルサイズ]で ELF レコード数を 1 に設定してあると、[変更]-[範囲]で材料または断面/板厚で指定した場合、異常終了してしまいました。
- ・パーテックスのあるデータを、[CAD]-[削除]で構造物全体、または[変更]-[削除]で CAD データを指定して実行した後、[CAD]-[パーテックス]-[座標値]でパーテックスが生成できませんでした。ただし、この現象はバージョン 1.3 でしか発生しません。
- ・[生成]-[CAD を使った]-[エッジ上 1 節点生成]でエッジ始点からの距離、エッジ始点からの割合でエッジの両端となる値を指定した場合、節点が生成されませんでした。ただし、この現象はバージョン 1.3 でしか発生しません。
- ・初期変位の値を負数で設定した場合、[情報]-[リスト]で節点:拘束条件の表示が拘束自由度になってしまいました。
- ・[生成]-[CAD を使った]-[パーテックス上節点生成]の番号付け指定で、最大節点番号を超えた番号を指定すると異常終了してしまいました。
- ・[条件]-[物性]-[等方性]の既存変更で、弾性係数またはポアソン比の一方だけしか入力しなかった場合、剪断弾性係数の値が変わりませんでした。
- ・[条件]-[荷重位置]で、梁荷重が梁要素以外に、また 1 次元要素に面荷重が指定できてしまいました。
- ・[変更]-[削除]のブロック:詳細指定の選択項目にキークセラレータが設定されていませんでした。
- ・[変更]-[要素タイプ]で、1 次元要素を要素名で変更した場合、リンク要素も変更されてしまいました。
- ・梁オプションの属性を設定してある梁要素、トラス要素をコピーすると、属性データがおかしくなっていました。

FEMOS

- ・高次 3 角形要素の材料番号等の表示位置が正しくありませんでした。
- ・[ファイル]-[環境設定]-[テーブルサイズ]で指定されている解析条件レコード数より大きいレコード数のモデルを読み込むと異常終了してしまいました。
- ・[変更]-[座標変換]で対象範囲をブロックで指定した場合、エラーになってしまいました。
- ・ToolBox のダイアログボックスで層番号を指定しても何も表示されませんでした。
- ・座標系番号に欠番があると拘束図が表示されない場合があります。
- ・[表示]-[視点]-[位置]で円筒座標系表示を局所座標系で指定した場合、局所座標系の原点位置を考慮した表示になっていませんでした。
- ・[グラフ]-[分布]-[節点/要素]で重ねあわせを指定してエラーになった場合のエラーメッセージが分かり難いメッセージでした。
- ・[変更]-[グラフ表示]で横軸距離表示を指定(相対または絶対)すると、[グラフ]-[分布]-[節点/要素]で制御が戻ってこなくなっていました。
- ・グラフ軸が表示されていない状態でグラフの重ねあわせを実行すると、現在の形状の上にグラフを描画してしまいました。
- ・グループ毎の描画を実行した時、凡例が画面からはみ出してしまう場合があります。
- ・[結果]-[コンター]-[濃淡図]で、要素の一部に解析結果がないデータの場合、面画の描画がおかしくなっていました。

- ・[ファイル]-[開く]でファイルを読み込んだ後、MRU リストからファイルを選択すると、[ファイル]-[開く]で指定した解析結果ファイルが読み込まれてしまいました。
- ・[表示]-[描画]-[線画]で梁オプション、リンク、タイイングのセット番号を指定して描画した場合、形状に描画される色と凡例の色が異なっていました。
- ・[変更]-[値表示の長さ]で単位成分を指定してから τ_{yz} のベクトル図を描画すると異常終了してしまいました。

LISA

- ・HEXA 要素の第一面に面荷重を設定した場合、荷重の向きが逆になってしまいました。
- ・強制変位だけを与えた場合、エラーメッセージを表示して解析を中止してしまいました。
- ・非定常熱伝導解析で、初期温度と連成解析用の拘束条件があると初期温度が正しく読み込まれませんでした。

FEMIST

- ・[ファイル]-[環境設定]-[テーブルサイズ]で指定されている解析条件レコード数より大きいレコード数のモデルを読み込むと異常終了してしまいました。
- ・MARC 変換で熱伝導解析のデータを作成する場合、節点荷重のデータがあるとそのデータを FIXED TEMPERATURE カードに変換してしまいました。
- ・FEM5 変換で熱応力解析のデータを作成する場合、TEMPD カードに節点温度の値が指定されてしまいました。
- ・遠心力+省略温度データを NASTRAN 変換すると異常終了する場合があります。
- ・ELF データで、空間に働く力を設定した要素の構成節点の節点番号が 5 桁の場合、MEG ファイル内の MGR1 ラベルと節点番号の間にブランクがなくなり、ELF/MAGIC 実行でエラーになってしまいました。
- ・NASTRAN、FEM5 変換で、RFORCE カード(遠心力)の回転ベクトル成分が作用する節点番号が正しくありませんでした。
- ・NASTRAN 変換で、荷重をすべて解除してあるはずの荷重ケース番号がケースコントロールデッキに出力されてしまいました。
- ・MARC 変換で、遠心力または自重データがある場合、SIZING カードの分布荷重の要素リスト内の要素最大個数が正しくない場合があります。

FEMOST

- ・Windows NT4.0 で、[ファイル]-[開く]のソルバー入力ファイルの指定を行うと異常終了してしまいました。

【バージョン 1.3 リリース 2 で修正されました。(1998/12/10)】 -バージョン 1.3 最終-

FEMOS

- ・MARC 複合材解析の応力(材料座標系)の全体座標系への変換が正しくありませんでした。
- ・出力位置の座標値に比べて主歪(主応力)の値が極端に小さい場合、主歪(主応力)のベクトル図が表示されませんでした。
- ・複合材以外の要素がある場合、面画の PID 番号の表示が正しくありませんでした。ただし、この現象はバージョン 1.3 リリース 1 でしか発生しません。

【バージョン 1.3 リリース 1 で修正されました。(1998/10/28)】

全アプリケーション共通

- ・セットアップおよび[ファイル]-[環境設定]-[ディレクトリ]のディレクトリ参照ダイアログボックスで、ルートディレクトリを指定すると正しくディレクトリ指定ができませんでした。
- ・各ダイアログボックスの数値入力で 16 文字入力すると、正しく処理されない場合があります。

FEMIS

- ・[情報]-[リスト]で全データを指定しても何も表示されませんでした。ただし、この現象はバージョン 1.2 でしか発生しません。
- ・CAD 面データのあるモデルで、別のセーブファイルを読み込んだ直後、アンドゥすると、元の CAD 面番号の表示がおかしくなっていました。
- ・[CAD]-[エッジ結合/エッジ分割]、[CAD]-[点]-[交点]で、画面からエッジをピックアップした時のピックアップが再表示されませんでした。
- ・[条件]-[リンク要素]-[属性設定]で X3 が 0 または空欄の場合、「バネ定数が全て 0 または全て空欄です」とエラー表示され実行することができませんでした。ただし、この現象はバージョン 1.2 でしか発生しません。
- ・全要素をブロック指定で削除した場合、面画を行うと削除したはずの形状が表示されてしまいました。
- ・CAD 面を指定するため 2 エッジを画面からピックアップする場合、指定するエッジによって異常終了する場合があります。
- ・内部穴のある CAD 面から内部穴を解除した後、内部穴を構成しているエッジのピックアップで元の CAD 面が選択できてしまいました。
- ・[CAD]-[面]でスクリーンピックアップ時に表示されるスクリーンガイドメッセージが正しくありませんでした。
- ・複合材データのあるファイルを読み込んだ後、別の複合材のあるデータを読み込むと、「PID 番号が既に存在しています」とエラー表示され実行することができませんでした。
- ・エディタ等で作成した CAD データだけの(節点データのない)標準入力ファイルを読み込むと、正しく読み込めない、または異常終了する場合があります。
- ・最大要素番号が、環境設定で設定可能な値より大きな値を指定してあり、最大要素数との差が大きい標準入力ファイルを読み込むと異常終了してしまいました。
- ・[情報]-[リスト]で節点番号を等差数列で指定した場合、最大節点番号を超える値を最大値に指定すると何も表示されませんでした。
- ・PENTA 要素の 3 角形の面を、ブロック面指定で移動生成した時にできる PENTA 要素の形状が正しくない場合があります。

- ・CAD 面を構成しているエッジを削除した場合、そのエッジが現在のモデルでの最大エッジ番号の場合、CAD 面情報が削除されませんでした。
- ・オートメッシュで計算制御ファクターを 0.0 で実行した場合、生成される節点番号が正しくない場合があり、描画時に異常終了する場合があります。
- ・グループデータが多い場合のグループ格納リストボックスの表示を早く表示するよう改善されました。
- ・[変更]-[削除]で自由節点を選択した場合、バーテックス・エッジ上の節点も削除されてしまいました。完全削除チェックボックスがチェックされていない場合は、バーテックス・エッジ上の節点を削除しないよう改善されました。
- ・[CAD]-[バーテックス]-[交点]でエッジ上、またはエッジ延長上を指定して交点が求まらない場合、何も表示されませんでした。交点が求まらない場合はその旨のメッセージを表示するよう改善されました。
- ・[変更]-[描画]で CAD 面:削除を指定した場合、面情報のみを削除して、構成エッジ・バーテックスは削除されませんでした。この場合、構成エッジ・バーテックスも削除されるよう改善されました。
- ・[変更]-[描画]でエッジ:削除を指定した場合、エッジ端点のバーテックスは削除されませんでした。この場合、端点のバーテックスが他の描画対象エッジの構成点でなければ削除されるよう改善されました。

FEMOS

- ・[結果]-[モード図]で、複数ケースを選択している場合、ケース毎にモード図描画継続の確認を行っていましたが、印刷時に不具合が発生するため、継続確認を廃止しました。

LISA

- ・リナंबर実行時にメモリ不足で表示されるエラーメッセージが別のメッセージになっていました。ただし、この現象はバージョン 1.2 でしか発生しません。

FEMIST

- ・NASTRAN 変換で複合材データが正しく変換されませんでした。
- ・MARC 変換で複合材の破壊指標を TSAI に指定した場合、COMPOSITE カードが正しく出力されませんでした。
- ・複合材データを変換した場合、材料番号が設定されていないという警告が表示されていました。
- ・複合材データを変換した後、続けて別のファイルを読み込む、または[ファイル]-[閉じる]を実行して別のファイルを読み込んでも複合材データのログが表示されていました。また、読み込んだファイルに複合材データがあると前の値に加算されてしまいました。

FEMOST

- ・[共通]-[削除指定]でケース指定をした場合、異常終了する場合があります。

IMPORT

- ・IGES 変換で、[特別]-[オプション]の番号変換一覧ファイル出力を指定した場合、データディレクトリに f_print.imp ファイルが作成されず、ワークディレクトリに for66 ファイルとして作成されてしまいました。

GEO

- ・リナंबर実行時にメモリ不足で表示されるエラーメッセージが別のメッセージになっていました。ただし、この現象はバージョン 1.2 でしか発生しません。

L・LOAD

- ・リナंबर実行時にメモリ不足で表示されるエラーメッセージが別のメッセージになっていました。ただし、この現象はバージョン 1.2 でしか発生しません。

【バージョン 1.2 リリース 3 で修正されました。(1998/11/18)】 -バージョン 1.2 最終-

FEMIS

- ・プロットファイル出力で、カルコンプロットファイルが正しく出力されませんでした。
- ・パーテックスに欠番がある場合、画面からパーテックスをピックできない場合があります。
- ・欠番のある CAD データで、CAD データの最大番号が環境設定で指定した値より大きな標準入力ファイルを、[ファイル]-[閉じる]の直後に読み込むと異常終了する場合があります。
- ・[変更]-[コピー/移動]-[線上]で、ボックスで要素選択を行った後、ライン選択で拡大を行うと形状がおかしくなっていました。ただし、この現象はバージョン 1.2 でしか発生しません。
- ・現在のモデルにグループデータがあり、標準入力ファイルで追加読み込みする場合、そのファイル中にグループデータが存在しているとグループデータが正しく設定されない場合があります。
- ・[生成]-[結合]でスクリーン入力時、拡大を行うと正常に実行されない場合があります。
- ・[生成]-[ブロック]-[4 角形]で、各サイドの節点数が異なり、サイド 1 またはサイド 3 の節点数が 2 の場合、異常終了する場合があります。
- ・[生成]-[交線]で平面と平面の交線計算を行うと異常終了してしまいました。ただし、この現象はバージョン 1.2 でしか発生しません。

FEMOS

- ・プロットファイル出力で、カルコンプロットファイルが正しく出力されませんでした。

FEMIST

- ・グループ設定のある標準入力ファイルを読み込むとサポートしていないカードがあるというエラーになってしまいました。

FEMOST

- ・MARC 変換で、複数ケースの複合材モデルを変換した場合、最後のケースしか出力されませんでした。

【バージョン 1.2 リリース 2 で修正されました。(1998/07/01)】

FEMIS

- ・ブロックコマンド入力で、節点の指定に B パラメータを使用すると形状が正しく作成されませんでした。ただし、この現象はバージョン 1.2 リリース 1 でしか発生しません。
- ・メッシュ生成時にエラーが発生した場合、そのまま作業を続けていると形状がおかしくなる、または異常終了する場合があります。

【バージョン 1.2 リリース 1 で修正されました。(1998/05/14)】

全アプリケーション共通

- ・Windows95/NT4.0 でタスクバーを上または左に置いている場合、起動毎にウィンドウの位置がずれてしまいました。
- ・一部のプリンタで[印刷中に一般的なエラーが発生しました]もしくは異常終了で、印刷できない場合があります。ただし、この現象はバージョン 1.1 リリース 2 以降でしか発生しません。
- ・あるダイアログボックスでキャンセルした処理が、別のダイアログボックスで OK ボタンをクリックした時に実行される場合があります。

FEMIS

- ・[変更]-[範囲]の切断面で、ベクトル指定が単位ベクトル以外正しくできませんでした。
- ・位置指定のない材料データのある標準入力ファイルを読み込むと[位置指定がない]という警告が表示されていました。
- ・バージョン 1.0 以前のリストファイルでリストを実行した場合、移動生成処理が正常に実行されない場合があります。
- ・剛体要素(タイピング)が設定されている形状の一部を削除したり、節点をマージすると剛体要素の設定がおかしくなっていました。
- ・[生成]-[結合]-[点と線]で、結合上の生成節点数と線上の生成節点数が同じ値(結合上の生成節点数)になってしまいました。
- ・1次元要素または1次元節点ブロックを回転移動させて3角形要素を作成する場合、その1次元形状の端点の節点を回転の中心として作成すると、中心点に接している3角形要素の中に正しくない要素が作成されてしまいました。
- ・[変更]-[範囲]で切断面を指定した場合、その切断面に対する描画がおかしくなる場合があります。
- ・セーブファイルを読み込むと、[特別]-[オプション]の設定の一部がファイル中の設定に置き換わってしまいました。
- ・[条件]-[荷重]-[削除]で等差数列の指定ができませんでした。
- ・端点を共有している二つの1次元要素(ブロック)を結合させて3角形要素を作成する場合、共有している端点に接している3角形要素の中に正しくない要素が作成されてしまいました。
- ・[条件]-[荷重位置]でサイド指定の時のシートが3節点入力になっていました。
- ・要素ブロック内に要素に属さない節点(ブロック生成時に形状チェックで削除されたり、ブロック生成後に要素を削除が存在した場合、ブロック指定でコピーをすると、その節点はコピーの対象になりませんでした。
- ・[伝熱]-[熱境界]-[解除]で節点熱流束の実行ができませんでした。
- ・同じブロック番号で二つ以上の2次元ブロックを作成し、そのブロックを削除した場合、ブロック番号の描画で、削除し

たブロックのブロック番号が描画されてしまいました。

- ・[変更]-[番号]-[リナンバー]でブロック番号を変更した後、マージを実行すると異常終了してしまいました。
- ・ファイルの読み込みでメモリーテーブルが不足した場合、何度も同じメッセージを表示する場合があります。
- ・標準入力ファイル中の条件の位置データ出力が番号順で出力されない場合があります。

FEMOS

- ・[変更]-[範囲]の切断面で、ベクトル指定が単位ベクトル以外正しくできませんでした。
- ・ベクトル図の描画で、変位、速度、加速度、反力の回転成分の合成値が正しくありませんでした。

LISA

- ・PENTA 要素の 4 角形面に分布荷重を載荷し、かつその面を構成している節点が支点である場合、その反力値が正しくありませんでした。
- ・拘束条件を与えていないモデルを解析すると異常終了する場合があります。
- ・分布荷重と体積力(自重・遠心力・温度荷重)を別々に計算して重ねあわせた結果と、一度に計算した結果とで異なる場合があります。

FEMIST

- ・位置指定のない材料データのある標準入力ファイルを読み込むと[位置指定がない]という警告が表示されていました。
- ・FEM5、NASTRAN 変換で自由節点に剛体要素(タイイング)が接続されている場合、その自由節点が完全拘束されてしまいました。
- ・CD-ROM からコピーした bh_curve.tdb(de_curve.tdb)のファイル属性が書き込み不可の場合、データベースを更新すると異常終了してしまいました。
- ・要素番号が連続していない場合、リンク要素が散在していると異常終了してしまいました。
- ・CAD データがあり、その上に節点が生成されている場合、最大節点番号と節点数が一致していないと[EXTERNAL FILE(UNIT NO.15) IS NOT COMPLETE]とエラー表示されてしまいました。

FEMOST

- ・MARC 変換で、MARC K7.1 で出力された K6 ポストファイルを読み込むとエラーになってしまいました。

【バージョン 1.1 リリース 4 で修正されました。(1997/12/19)】 -バージョン 1.1 最終-

FEMOS

- ・リンク反力または電流に働く力をリスト表示した場合、全て 0 となってしまいました。
- ・[情報]-[解析結果]、-[荷重ケース/周波数/時刻]、-[成分最大・最小値]の小数点以下桁数の指定で、有効桁数以外(小数点以下 7、8 桁目)まで指定できてしまいました。

【バージョン 1.1 リリース 3 で修正されました。(1997/12/04)】

FEMIS

- ・[情報]-[リスト]を実行しても何も表示されませんでした。ただし、この現象はバージョン1.1 リリース2でしか発生しません。

FEMOS

- ・軸対称要素で、[変更]-[スムージング]の通常を実行した場合と、していない場合で主応力分布が異なっていました。

FEMOST

- ・トラス要素とビーム要素が混在しているモデルで NASTRAN 変換すると、[SECTION NO IS NOT FOUND IVEC TABLE]とエラー表示されてしまいました。
- ・[ファイル]-[環境設定]-[カスタム]で新形式 MAG ファイルチェックボックスをオフにして旧 MAG ファイルを変換すると異常終了してしまいました。

【バージョン 1.1 リリース 2 で修正されました。(1997/11/27)】

全アプリケーション共通

- ・PC-98 シリーズでデータ・ワークディレクトリを A ドライブに設定していると不具合を起こすことがありました。この問題は修正されたので、この問題を回避するために行っていただいた仮想ドライブの設定は不要となりました。
- ・一部の AT 互換機+Windows95 で、HASP が接続されているのに[HASP のチェックができません。しばらくしてから実行して下さい]と表示される場合があります。
- ・[初めにお読みください]がバージョン 1.0 用のものでした。

FEMIS

- ・[情報]-[節点距離]で全節点以外を選択した場合、節点距離が表示されないことがありました。

【バージョン 1.1 リリース 1 で修正されました。(1997/10/31)】

FEMIS

- ・コマンド入力で、BOUN POSI . SET .DELE で指定した拘束が解除されませんでした。
- ・要素番号に欠番がある場合、[情報]-[リスト]の[要素データ:荷重データ]で正しい情報が表示されませんでした。
- ・[変更]-[番号]でブロック番号を変更した場合、データがおかしくなる場合があります。
- ・セーブファイルを読み込んだ後、標準入力ファイルを追加読み込みして、標準入力ファイルに保存した場合、謝った地盤データが出力されてしまいました。

FEMOS

- ・[結果]-[濃淡図]、-[要素色分け]で存在していない成分を指定した場合、エラーにもかかわらず、再描画時に同じ処理が実行されてしまいました。エラーの場合は、再描画時にその処理をスキップするよう改善されました。

LISA

- ・固有値解析を実行した後、異常終了する場合があります。
- ・非定常熱伝導解析で、指定した範囲の結果が全て出力されない場合があります。

FEMIST

- ・ELF 変換で空間に働く力の設定がある場合、正しく変換が実行されませんでした。
- ・ELF 変換で空間の節点だけの(空間要素がない)場合、MAI ファイルに DMEG カードが出力されませんでした。

【バージョン 1.0 リリース 3 で修正されました。(1997/09/05)】 -バージョン 1.0 最終-

LISA

- ・伝熱解析で、熱荷重データがなく、熱解析に関係のない荷重データが存在していると、異常終了する場合があります。ただし、この現象はバージョン 1.0 リリース 2 でしか発生しません。
- ・[解析パラメータ]-[非定常熱伝導]で、解析時刻ステップが 1 以下の場合、出力時刻ステップが解析時刻ステップの整数倍になっているのに、[出力時刻ステップが解析時刻ステップの整数倍になっていません]と表示される場合があります。

【バージョン 1.0 リリース 2 で修正されました。(1997/08/13)】

FEMIS

- ・[伝熱]-[時間関数]-[生成]でのシート入力で 16 文字以上入力すると正しく実行されませんでした。

FEMOS

- ・[特別]-[オプション]の分類:数値表現で固定小数を指定した場合、小数桁入力で(整数部+小数部+2 \geq 総表示文字数[9])となる値を指定すると、数値描画時、異常終了してしまいました。
- ・グラフ図描画時、最大値と最小値が近い(ほぼ一致する)場合、軸目盛間隔に比べて最小値が大きい場合、制御が戻ってこない場合があります。

LISA

- ・伝熱解析で、解析に関係のない荷重データが存在していると、関係のないエラーを表示して解析を中止してしまいました。
- ・連動熱弾性解析を実行すると、不完全な FEMOS 入力ファイルを生成してしまいました。ただし、この現象はバージョン 1.0 リリース 1 でしか発生しません。

FEMIST

- ・[ELF/MAGIC]-[B-H 曲線]-[曲線入力]、[ELFIN]-[D-E 曲線]-[曲線入力]でのシート入力で 16 文字入力すると正しく実行されませんでした。

【バージョン 1.0 リリース 1 で修正されました。(1997/07/31)】

FEMIS

- ・[変更]-[範囲]で 2 次元要素を一つだけ選択して面画すると何も表示されませんでした。
- ・凡例を描画する面画の拡大時に、ウィンドウのサイズを変更すると拡大は解除されますが、凡例の部分の背景が拡大状態のままになっていました。
- ・[生成]-[節点]-[座標値]で、未設定の座標系を指定すると異常終了する場合があります。
- ・[CAD]-[エッジ結合]で円弧エッジを結合する場合、エッジの向きの組み合わせによって結合後のエッジの向きが正しくない場合があります。
- ・[変更]-[要素タイプ]で 3 角形高次要素を複数低次要素に変更した場合、形状がおかしくなる場合があります。
- ・CAD データだけのセーブファイルが正しく作成できない場合があります。
- ・パーテックスをマージしてデータを保存すると、削除されたはずのパーテックスが座標値(0,0,0)で存在していました。
- ・[条件]-[荷重]-[エリア載荷]で円筒を指定する場合、正しい円筒座標系を指定しないと異常終了する場合があります。
- ・軸対称シェル要素の各要素に異なった板厚を設定しても、全要素が同じ板厚になってしまいました。また、軸対称シェルに設定した板厚の解除ができませんでした。
- ・CAD 面を構成しているエッジを[CAD]-[円]-[接円]で変更した場合、CAD 面が不完全な状態になってしまいました。
- ・オートメッシュ実行時、エラーが発生した場合、エラーログがリストページでなく、プリントファイルに出力されていました。
- ・大きなモデルデータを読み込んだ場合、描画時に異常終了する場合があります。

FEMOS

- ・[変更]-[範囲]で 2 次元要素を一つだけ選択して面画すると何も表示されませんでした。
- ・凡例を描画する面画の拡大時に、ウィンドウのサイズを変更すると拡大は解除されますが、凡例の部分の背景が拡大状態のままになっていました。
- ・[グラフ]-[分布]-[評価ライン]で描画したグラフ図を再描画すると異常終了する場合があります。
- ・面外剪断力を座標変換して濃淡図を描画すると、数値図に比べて 100 倍程大きな値になっていました。ただし、シェル断面力のうち、面外剪断力はサポートしておりません。
- ・板厚データなどで、定義はしてあるが位置設定のしていないデータのあるセーブファイルを読み込むとエラーになってしまいました。
- ・[変更]-[コンター/グラフレベル]でレベル数を 30 以上にすると、制御が戻ってこなくなっていました。
- ・[変更]-[範囲]で切断面/切断要素/切断要素隠面のどれかを実行して構造物全体に戻した後、[選択]-[スライス面]を実行して面画描画を行うと形状がおかしくなっていました。

LISA

- ・[解析パラメータ]-[非正常熱伝導]、-[連動熱弾性]で入力パラメータにエラーがありキャンセルしても、更新されているパラメータがありました。

FEMIST

・[ELF]-[カードデータの削除]で空間:その他を実行するとエラーになってしまいました。

IMPORT

・常にサイズが0のプリントファイルを作成していました。

以上